

みずほCustomer Desk Report 2020/06/18 号 (As of 2020/06/17)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	107.35
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.40	1.1265	120.87	1.2576	0.6893
SYD-NY High	107.44	1.1294	121.19	1.2588	0.6922
SYD-NY Low	106.95	1.1207	120.17	1.2512	0.6853
NY 5:00 PM	107.01	1.1244	120.28	1.2558	0.6883
NY DOW	26,119.61	▲ 170.37	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	9,910.53	14.66	日本10年債	0.010	▲ 1.00bp
S&P	3,113.49	▲ 11.25	米国2年債	0.194	▲ 0.19bp
日経平均	22,455.76	▲ 126.45	米国5年債	0.342	0.64bp
TOPIX	1,587.09	▲ 6.36	米国10年債	0.732	▲ 0.82bp
ソコ日経先物	22,525.00	110.00	独10年債	-0.4290	0.05bp
ロンドンFT	6,253.25	10.46	英10年債	0.1880	▲ 1.60bp
DAX	12,382.14	66.48	豪10年債	0.9080	▲ 1.30bp
ハンセン指数	24,481.41	137.32	USDJPY 1M Vol	6.45	▲ 0.10%
上海総合	2,935.87	4.12	USDJPY 3M Vol	6.76	0.01%
NY金	1,735.60	▲ 0.90	USDJPY 6M Vol	7.20	▲ 0.10%
WTI	37.96	▲ 0.42	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	136.38	0.11	EURJPY 3M Vol	8.68	▲ 0.15%
ドルインデックス	97.16	0.20	EURJPY 6M Vol	8.86	▲ 0.09%

	東京時間のドル円は107.40レベルでオープン。日経平均株価が下落して寄り付くと、ドル円は107.17まで下落。その後日経平均株価が下げ止まったことでクロス円が買われドル円は107.30付近まで値を戻した。その後は韓国大統領府が北朝鮮に関して会見を行ったが、ドル円への反応は限定的。結局107.31レベルで海外時間に渡った。
	ロンドン市場のドル円は107.31レベルでオープンし、材料に乏しく閑散とした値動きとなった。約20銭の狭いレンジで横ばいし、107.38レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2579レベルでオープンし、翌日に英中銀行の政策金利の発表をひかえるなか、1.2560を挟みもみ合った。一時、アジア時間の安値を抜けると1.2524まで下げたが、すぐ反発し、上値を追う展開に。結局1.2563レベルでNYに渡った。
	ニューヨーク市場のドル円は107.38レベルでオープン。朝方は米5月住宅着工件数が予想を下回ったが、相場への影響は限定的だった。その後、高寄り後のダウ平均がマフス圏に沈んだほか、「米テキサス州、この24時間でコロナウイルス入院者が11%急増」とのヘッドラインが伝わったことから、リスクオフの円買いが強まり、107.13まで下落。午後はNY市が来週から経済再開の第2フェーズを開始すると発表された中、リスクオフの流れが一服し、107.30付近まで反発するが、ダウ平均がマフス圏に沈み、米長期金利も低下すると107円を割り込み、一時106.95をつけ、結局、107.01レベルでクロス。一方、ユーロドルは、1.1231レベルでオープン。朝方は低調な経済指標結果や米国内の一部地域での感染第2波への懸念が強まる中、リスクオフのドル買いが優勢となり、一時1.1207まで下落。午後はリスクオフのドル買いが一巡すると1.1237まで値を戻す。その後、米金利低下を背景にドルが売られたことや、下落する米株に比べ欧州株先物が堅調に推移したことからユーロが買われたことを受けて、1.1246までじりじりと値を戻し、結局、1.1244レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断で行なうようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はすべて銀行に帰し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:原田・逸見 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月17日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0%/0.5%	0%/0.5%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)確報	5月 0.1%/-0.1%	0.1%/-0.1%
	21:30	米 住宅着工件数	5月 974k	1100k

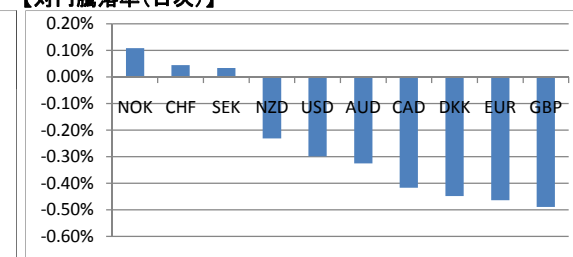
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月18日	21:30	米 フィデリティ連銀景況	6月 -21.4	-43.1
	21:30	米 新規牛養保険申請件数	13-Jun 1290k	1542k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

新型コロナウイルス発生以降、各国中銀は大規模な緩和策を取っており、先週今週とあったFOMCとBOJにおいても引き続き緩和姿勢が長期間続くことが示された。本日はBOEが予定されているが、こちらも緩和姿勢の継続となろう。新型コロナウイルスの感染拡大以降、BOEでは政策金利を0.75%から0.1%まで引き下げたほか、国債・社債の買い入れ額の6200M増額、CP購入ファシリティの導入等を実施している。前回5月の会合では、金融政策は据え置きとなったが、現行の買い入れペースでは7月初旬までには上限に達してしまうことが指摘されており、ベリー総裁も6月会合でQE拡大の可能性もあると述べていることから、今回の会合においてQEが拡大される可能性はありそうだ。一方マイナス金利についてベリー総裁は解除しない姿勢を示しているが、導入に対して積極的な姿勢は見せておらず、マイナス金利についてのレビューが8月に行われる予定となっているため、今回の会合では実施されないであろう。英国は欧州の中でも新型コロナウイルスの被害が大きかった国である。高齢化社会ということもあり死者数が増加した。検査数を絞った対応や、ロックダウンの時期についての批判もあるようだが、結果論に過ぎないと個人的には考える。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大によりグローバル化が進んでいた社会において内向き志向が高まったことは言うまでもなく、ブレクジットに加え保護主義は高まりそうだ。そのブレクジットについては今月末までで双方が合意できれば今年末のブレクジット期限を延ばすことができるが、先日行われたジョンソン首相と欧州委員長との会談では延期しないことが確認された。議論に進展も見られない中、新型コロナウィルスとブレクジットと二つの懸念を抱え、英国の緩和政策は長期間継続しそうだ。(玉井)

■ 今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14